

- [かんたんな経緯と概要](#)
- [ぜひ読んでください。](#)
 - [最新情報の](#)
- [毎日新聞 関係者の処分](#)
- [関連](#)
 - [この問題をとりあげたメディア（時系列順）](#)

かんたんな経緯と概要

毎日新聞 英語版 = 毎日ディリーニュース (MDN / Mainichi Daily News)

- 1989年 10月 英字新聞『毎日ディリーニュース』(MDN)で、日本の週刊誌の記事を紹介する『WaiWai』コラムコーナーが連載開始。隔週月曜日紙面の2/3のスペース。
- 1991年 1月 WaiWaiコーナー拡大。毎週月曜日紙面の3/4のスペース。
- 1992年 10月 WaiWaiコーナー拡大。毎週日曜日全面。
- 1995年 8月 毎日新聞社、Webサイトを『JamJam』として拡充。MDNの小さなコーナーもあったようだ。
- 1996年 4月 毎日新聞社、“軟派な”コンテンツを扱うサイト『AULOS』を開設。
- 1996年 10月 “担当記者”の試用期間を開始(1997年10月から特別囑託記者)。
- 1997年 8/1 毎日新聞社、「ネットジャーナリズム宣言」を発表し、Webサイトを一新。
- 1999年 4月 毎日新聞社、JamJamとAULOSを統合し、新ニュースサイト『毎日インタラクティブ』を開設。このころからWeb版にもWaiWaiが載るようになったようだ。
- 2001年 3月 毎日ディリーニュース紙(紙媒体)休刊。
- 4月 WaiWaiベスト集『Tokyo Confidential』が出版。マーク・シュライバー編集、The East Publications発行。
- 4/19 毎日新聞社、Webサイトリニューアル。
- 4月 毎日ディリーニュース、Webサイトで再スタート(<http://mdn.mainichi.co.jp/>)。WaiWaiも再開(<http://mdn.mainichi.jp/culture/waiwai/>)し、原則毎日の連載となる。
- 2004年 4/5 毎日新聞社とMSN(マイクロソフト)が提携し、『MSN-Mainichi Interactive』スタート。MDNも新サイト引き継がれ<http://mdn.mainichi-msn.co.jp>となる(しばらくはmdn.mainichi.co.jpと並行運用)。
- 2005年 4月 “担当記者”が毎日ディリーニュース編集長になる。
- 6月 WaiWaiベスト集『Tabloid Tokyo』出版。
- 6月か7月 mainichi-msnが新システムに移行し、mdn.mainichi.co.jpからのURL転送がなくなる。
- 2007年 4月 WaiWaiベスト集『Tabloid Tokyo 2』出版。
- 10/1 毎日新聞社とMSNの提携が終了。毎日新聞社、『毎日jp』(<http://mainichi.jp>)を開設。WaiWaiは<http://mdn.mainichi.jp/culture/waiwai/>になる。
- 10月 米国在住者の読者からWaiWaiを批判するメールがくる(英語)。毎日新聞側は対応せず。
- 2008年 3月 日本国内の読者からもWaiWaiを批判するメールがくる(日本語)。毎日新聞側は対応せず。
- 4月 一部のブログが毎日新聞英語版サイトの惨状を告発。
- 5/27 日本最大のインターネット掲示板サイト『2ちゃんねる』(以下『2ch』)のマスコミ掲示板で「毎日新聞の英語版サイトがひどすぎる」というスレッド(掲示板に投稿された話題の括り)が立つ。
- 5月 2chの利用者(2ちゃんねらー)が、ニュースサイトJ-CASTへ通報するがJ-CASTはニュースとして取り上げず、2chの各掲示板に「毎日新聞の英語版サイトがひどすぎる」というコピペ書き込み(同一文のコピー書き込み)が始まるが、あまりの内容の酷さに“釣り”だと思われ、まともに相手にされなかった。
- 5/30 某月刊誌から、記事の使用について抗議される。
- 5/31 毎日新聞社、WaiWaiの一部記事を削除。
- 6/1 [元祖まとめ@wiki](#)が登場し、2chで少しずつだが確実に広まっていく。
- 6/11 毎日新聞社、WaiWaiの問題記事を削除。
- 6/20 J-CASTとYahoo! News、『毎日新聞英語版サイト「変態ニュース」を世界発信』と配信。「えっ!?あれマジだったの?」とYahoo!と2chで一気に盛り上がる(プチ祭り)。ネットに一気に広まる。
- 20:45 毎日新聞社、WaiWaiコーナーを閉鎖。
- 6/21 毎日新聞社、WaiWaiの記事を全てサーバーから削除し、検索できなくする。

Yahoo! Newsに批判コメントが相次いで書き込まれるが、運営による無差別的なコメント削除が始まる。
YouTude、ニコニコ動画に、相次いで毎日新聞を批判する複数の動画が投稿される。

- 6/22
07:56 J-CAST、『「毎日新聞英語版「変態ニュース」コーナー閉鎖」』と続報を配信。
- 6/23 午 2chで、MDNサイトのMETAタグ（検索用キーワード）に"japanese girl", "hentai", "geisha"が発見される。これにより、会社ぐるみであることが表面化。詳細は[METAタグ事件](#)参照。
- 6/24 前 [電話問合せ結果・活動紹介・データ保管等、情報整理・共有の為](#)の[情報集積wiki](#)が作られる。（つまりこのサイト）
- J-CASTニュース、『「低俗過ぎる記事」で毎日新聞が謝罪 関係者を処分』と続報を配信。
毎日新聞サイトの[不謹慎英語クイズ](#)がこっそり削除される。
- 10:21 朝日新聞社（asahi.com）、『毎日新聞英文サイト英訳コーナー廃止 「低俗」批判受け』と配信。
毎日新聞トップページに謝罪文が小さく表示されるが、内容がお粗末だと批判の声が上がる。
毎日新聞英語サイトに謝罪文が掲載されるが、謝罪というより言い訳。[謝罪記事](#) [魚拓](#)
謝罪文で「責任者を処罰する」とあるが、6/25付でデジタルメディア局（今回の問題の責任部署）局長は取締役昇進することが発覚（5/17発表の記事）。
- 夕刊 朝日新聞・読売新聞・日本テレビ・産経新聞・ITメディアで報道される。
ニコニコ動画の関連動画が、一斉削除される。
- 夜 「防衛省の『ロリータ』漫画キャラクターでその内実が明らかに」と記事にされた漫画家が毎日新聞に問い合わせたところ、『ブログに書くな!』と言われる。
- 6/25 「自衛隊～」の引用元とされる雑誌『サイゾー』が、そんなことは書いてないとWebサイトで原文を発表。
- 6/26 毎日新聞社株主総会。事件関係者が取締役や社長等に予定通り昇進する。
WaiWaiの閉鎖とお詫びを受けて、[元祖まとめ@wiki](#)の管理人、[更新を終了](#)。
- 6/27 担当者の処分が金曜日の午後に発表される（役員報酬10%(1カ月)返上や懲戒休職3カ月など）が、実質的に処分といえるか批判が相次ぐ。
毎日新聞社、謝罪ページ内にて「ネットでの女性記者への誹謗などについては法的措置を取る方針」と発表。訴訟をちらつかせた毎日新聞の対応に対し、2chは大量の批判的書き込みで“祭り”状態に。（ニュース速報+板では27～30日の4日間で230スレッドを消費（のべ23万件の書き込み））
同日、一部の記事が閲覧可能状態になる（2008年6月27日付）。2chで話題となり、すぐに削除される。
- 6/28 毎日新聞英語版の読者掲示板ページに、WaiWaiの終了を惜しむ投書が掲載されていることが確認される（削除されて今はない）。ちなみにこのページは、毎日新聞側に承認されないと投稿内容が表示されない。
- 6/29 過去のWaiWai記事に、未成年にも対応した [買春指南の記事](#)があったことが発覚。しかもその元記事は海外有名サイトに2次転載されている。[毎日新聞に学ぶ「売春で捕まらないための11の方法」](#)（デジタルマガジン・タイトルは売春だが内容は買春について）/WaiWaiの元記事は「[Inside tips to avoid being screwed by teens turning tricks](#)」。
毎日.jpの毎日小学生新聞のコーナーに、「ヴァギナの品格」などの記事へのリンク（[ライフスタイルアクセスランキング](#)）があることが発見される。毎日新聞社、ニュースセレクトアクセスランキングに差し替える。[何で年齢認証ないの？](#)参照。
- 6/30 毎日新聞社、英語版元サイトから2次利用された各国のサイトに削除を要請。 どういう要請でしょうか？
毎日新聞社によるWaiWai閉鎖のお知らせに、[日本語訳のないセクション](#)が追加されていることが確認される（サイトの更新日付不明）。
過去のWaiWai記事から、[日本人がエクアドルで子供狩りをしているという記事](#)が発覚。[日本人の休日「海外でレイプと人狩り」](#)（デジタルマガジン）
- 7/1 日刊ゲンダイ、[毎日新聞を擁護する記事](#)を掲載。
- 7/2 毎日新聞本社前で「[在日特権を許さない市民の会](#)」の主催による抗議活動が実施される。
毎日新聞が全国の図書館等からの過去記事データベースの利用を停止したことが発覚。[国立国会図書館からもアクセス不可](#)
- 7/3 全国放送「[情報ライブ ミヤネ屋](#)（読売テレビ放送）」で報道される。問題の詳細を報道した最初のTV番組となる。
[動画](#)
- 7/4 ROM人氏、神戸簡易裁判所に毎日新聞を提訴。[その他の動き](#) [法的措置実行の人登場](#)
[毎日jp.サイト内の「お中元特集」ページ終了](#)
- 7/5 Yahoo! Newsが本件に関連したニュースのまともなコメントを大量削除。結果的にコメント欄が毎日新聞の主張する「ネットの暴力」の状態に（詳しい方、修正してください）
オーストラリアのThe Ageでこの事件のことが [記事](#) に。[該当2ch記事](#)
- 7/7 毎日新聞が「[開かれた新聞](#)」委員会によるWaiWai問題の調査結果を、7月中旬に発表すると公表。[記事](#)
ROM人の個人訴訟、最高裁の判断を仰ぐべき事案との判断により、第一審が簡易から地裁へ移送。
- 7/8 日経オンライン、『「毎日jp」が自社広告だらけに』。
毎日.jp上のヤフー経由のパナー広告や「お中元特集企画」が出店企業の撤退で閉鎖されたことが、[ITproで報道される](#)
- 7/9 毎日新聞社が [検索ロボット排除](#)を行なっているのを [確認](#)。
全ての検索エンジンを拒否し、“Webひきこもり”に。
- 7/11 J-CASTニュース、[講談社インターナショナルが「タブロイド・トーキョー 第3集」の発売を中止と報道](#)。
理由は「低俗すぎる」とのこと。
mdn.mainichi.co.jp 時代(2001/09/17～2004/04/02)のmetaタグが発掘される。[schoolgirl タグ](#)参照

- 7/12 毎日新聞社、他社からの取材を拒否。 [「インターネット関連のメディアには回答出来ない。理由はない」](#) (PJニュース)(08:20)
- 7/18 訴訟原告第一号ROM人、神戸地方裁判所事件番号確定。 [「神戸地裁平成20年\(ワ\)2007号事件」](#)
- 7/20 毎日新聞社、 [「開かれた新聞」委員会](#) によるWaiWai問題の調査結果を発表
[毎日デイリーニュース『waiwai』問題 おわびと調査結果 問題点まとめ](#)
毎日新聞社、6/28の「法的措置を取る」文言をこっそり削除。
[米州機構が公式文書にてライアン・コネルの記事を引用](#) していたことが発覚。2chで祭り。
- 7/21 毎日新聞本社前で「 [日本を護る市民の会](#) 」主催の抗議活動が実施される。
- 7/23 有志の調査により、紙媒体の英字毎日新聞のwaiwaiにもエロ記事がのっていた事が判明。1998年2月22日(日)の記事は「Young studs showing older women a real good time」、日本語の見出しもついており、「逆援助交際に来るOL&人妻の奔放セックス！」。
この事件のことが、米・英・豪の各国クオリティペーパーで報道される。一方、日本の大手メディアは、ほとんど報道せず。
- 7/24 [NTT docomo、8/1からのiチャンネルの配信元変更を発表「毎日新聞」から「日本テレビ」へ](#)
- 7/26 2chの毎日新聞関係スレに [ウイルスサイトへのリンクが発見される。踏まないように要注意！！](#)
- 7/31 NTT docomo、iチャンネルでの毎日新聞ニュースの配信を終了。
- 8/3 雑誌『諸君』2008年9月号に、 [「担当のデジタルメディア局長は心労のあまり痩せてしまっている」という記事](#)。
- 8/5 毎日.jpにバナー広告が復活。広告主は、大正製薬、yahooなど。
- 8/10 有志の調査により、 [1997年10月5日の紙時代の記事発掘 全文公表](#)。7/20の検証記事の信憑性が疑われる。
- 8/12 Techbahn、 [毎日新聞、反発を受けて「毎日jp」の閉鎖を検討](#) と報道。
- 8/13 毎日新聞社、Techbahnの報道に [事実無根と反論](#)。
- 8/13 J-CASTニュース、 [「毎日英字紙にも「変態ニュース」 11年前から多数の記事掲載」と報道](#)。
「毎日新聞の低俗記事問題、社内調査報告書は虚偽の疑い」と [テクノバースが報道](#)。
- 8/21 毎日新聞本社前で「 [日本を護る市民の会](#) 」主催の第2回抗議活動が実施される。
- 9/1 毎日新聞が、「 [「毎日デイリーニュース」刷新 改めておわびと決意](#) 」を発表。平身低頭に、あいまいな謝罪を繰り返すが、真相解明・訂正記事等は皆無。 [いまここ](#)

ぜひ読んでください。

“日本叩き(ジャパン・バッシング)”の温床・日本の英字新聞 外国の謀報活動に利用されっ放しでいいのか？
については別のページに移動しました。

<http://www8.atwiki.jp/mainichi-matome/pages/1012.html>

最新情報の

新たな書き込みで表組み編集出来ない場合は、表欄外にでも書いておいてもらえたら随時組み込みます

毎日新聞 関係者の処分

氏名	問題発覚前(6/20)の役職	6/25の人事異動後の役職 6/27発表の処分内容 7/20発表の追加処分内容
朝比奈 豊	常務取締役、主筆、編集担当、出版担当、デジタルメディア担当	発覚後の人事異動で 代表取締役に昇進 6/27-役員報酬 0.1 ヶ月分を返上(1ヶ月間10%を返上)
長谷川 篤	常務執行役員、デジタルメディア局長	発覚後の人事異動で 取締役デジタルメディア担当に昇進 6/27-役員報酬 0.2 ヶ月分を返上(1ヶ月間20%を返上)
磯野 彰彦	デジタルメディア局次長	発覚後の人事異動で デジタルメディア局長に昇進 6/27-役職停止1カ月の懲戒処分
高橋 弘司	未公表。毎日新聞社は回答も拒否。	英文毎日 編集部長 6/27-役職停止2カ月
某英文毎日編集部記者	おそらくライアン・コネルのこと。 なぜ匿名にする必要があるのか疑問。	懲戒休職3カ月
ライアン・コネル	毎日デイリーニュース編集長代理	未公表
カミヤマ・マスオ	未公表	未公表
渡辺 良行	1999年4月~2004年6月まで総合メディア事業局長。現在は常務	7/20-役員報酬0.2ヶ月分を返上(1ヶ月間20%を返上)
未公表	歴代英文毎日 編集部長	7/20-追加処分の検討対象に入れることにしました
未公表	死亡	死亡の為、処分できず
未公表	退社	退職の為、処分できず

未公表

? 元編集部長

未公表

関連

[この問題を取りあげたメディア（時系列順）](#)